

小・中学生の起業アイデアコンテスト

第7回 **KYOTO**

応募
受付中!

締切(必着)

2026 **7/9** (木)

アントレプレナー チャレンジ

“アントレプレナー”とは、新しい事業をつくりだす人のことです

君の事業アイデア待っています!!



京都の未来を
ワクワクさせよう!



アレルギー
対応店を
紹介



地藏盆を
開催



古材の
アップ
サイクル

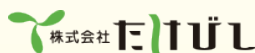
令和8年度京都府「起業するなら京都・プロジェクト」起業体験推進補助事業

- 応募資格：京都府内の小・中学生(個人・団体問わず)
- 募集内容：京都の強みを生かして「こんなことしたい!」、自分たちの身近な問題を「こんなふうに関心したい!」という事業アイデア
- 支援内容：書類・研修(面接)を経て選ばれた事業アイデアをみなさんが主体的に実現するために必要な応援をします。
- 応募方法：応募用紙(HPからダウンロード)に記入して事務局に送付

主催：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター 後援：京都府・京都府教育委員会・京都市教育委員会

協賛：コミュニティ・バンク京信、一般財団法人三洋化成社会貢献財団、株式会社SCREENホールディングス

株式会社たけびし、日東精工株式会社、日本新薬株式会社



チャレンジについて

『Kyotoアントレプレナーチャレンジ』は、若いみなさんの「こんなのあるといいな」の実現を応援することで、「新しい未来を切り開く力」や「社会を変える力」を伸ばしてもらうことを目的としています。

私たちの社会がより良く平和であるためには、みなさん自身が、身近な問題に気づき、その解決のために行動することが必要です。

新しいことにチャレンジする時は、わからないことが多くて不安です。でも、協力しあえる仲間や助言してくれる大人がいることで、失敗してもあきらめない限り、思いは形になります。**この事業に参加して、“やりたいことを実現する力”をつけてみませんか？**

みなさんから身近な問題の解決に役立つ事業アイデアや京都の良さを生かした新しい製品・サービス等の提案をお待ちしています!!

事業の流れ



採択されると

- ◆ 定例会議で学び合う(月2回 Zoomでオンライン集合)
- ◆ 事業の実現に必要な助言や支援を受ける
- ◆ ホームページで活動発信(<http://www.youthenterprise.jp/>)
- ◆ 事業報告会(3/7日)に参加して発表する
- ◆ 優秀な取り組みには賞が授与される

審査のポイント

- ◆ 事業アイデアがユニークで新しい
- ◆ 注目している課題に役立つ提案である
- ◆ 提案者が主体的に進めていけそうである
- ◆ 来年2月末までに実現できる内容である
- ◆ このチャレンジで応援する意義がある

応募するには

対象者 京都府内に住む、または京都府内の学校に通う小・中学生(応募は、個人・グループ・団体の種別は問いません)

以下を確認して応募ください。

- 同じ個人からの応募は1事業とします。
- 今回新しく企画した、または今までの取り組みを発展させた事業アイデアであること。
- 提案事業が書類選考を通過した場合は、応募者と監督責任者が7月の研修に参加できること。
- 学校の授業や課外活動の一環で実施する場合は、代表の子供たちと指導者が研修やオンライン会議に出席できること。
- 採択された場合は、月2回のオンライン会議(Zoom利用)の参加に必要なインターネット接続や端末が準備できること。
- 子供の提案で、子供主体で活動すること。

応募方法

『Kyotoアントレプレナーチャレンジ』のホームページから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入して以下の連絡先にメール添付、または郵送にて送付ください。なお、送付いただいた書類は返却しません。

※大人の代筆は不可とします。

詳細・応募はHPより!▼



送付先・連絡先

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
〒604-0866 京都市中京区西本寺町160-2 船越メディカルビル3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

E-mail info@entreplanet.org

URL <http://www.entreplanet.org>

昨年の採択事業

文化遺産の維持のために何かしたいと、清水門前町の店舗や東寺の弘法市の協力を得て、五重塔に見立てたトルネードポトを販売し、利益を寄付しました。



自分たちの地域にある川東牧場の牛乳を使った「かめまるプリン」を考案。奥岡の洋菓子店の協力を得て、奥岡駅で販売しました。



舞鶴市でアレルギー対応をしている店を調べ、紹介店舗の協賛を得てマップを作製・印刷して、市内の小中学校や観光協会などで配布しました。



地域の人の協力や協賛を得て、中学校区内の小・中学生を対象に地蔵盆を開催し、ゲームなどを通じて互いに楽しく交流する機会を作りました。



解体された古民家などから出る古材を新しい商品に生まれ変わらせて販売したり、古材を使った物作りワークショップを開催しました。

